



# 新潟大会のご案内

「探究心を育む理科教育」 ―地域産業との連携で探る、新たな価値の創造に向けて―

教 育 長 様  
高 等 学 校 長 様  
特 別 支 援 学 校 長 様  
中 等 教 育 学 校 長 様  
理 科 教 育 関 係 者 様

日本理化学協会会長 上村 礼子  
新潟大会運営委員長 田邊 康彦

令和8年度全国理科教育大会・第97回日本理化学協会総会を、新潟県三条市にて開催させていただきます。本県での開催は、昭和58年の第54回大会以来、実に43年ぶりとなります。会場となる三条市立大学は、ものづくりの拠点である新潟県中央部に位置し、地域産業と深く連携した新しい学びの象徴ともいえる施設です。

現在、学校現場では「総合的な探究の時間」や「理数探究」が深化し、理科教育で培われてきた「科学的な探究のプロセス」は、教科の枠を超えてあらゆる学びのエンジンとなっています。本大会では「探究心を育む理科教育 ―地域産業との連携で探る、新たな価値の創造に向けて―」を主題に掲げました。DXやAIの進化が加速する今、教室で学ぶ理論がいかんして社会課題の解決や産業のイノベーションへと繋がっていくのか。その「生きた繋がり」を皆様と共に再確認し、次代を担う子供たちの可能性を最大化する術を研鑽し合いたいと考えております。

今大会の舞台「三条・燕地域」は、400有余年の歴史を誇る金属加工の集積地です。ノーベル賞晩餐会を彩るカトラリーや世界を席卷するアウトドア製品を生み出すその技術は、摩擦、熱伝導、結晶構造、酸化還元といった、私たちが日々教壇で説く理科の知見が結晶化したものに他なりません。町全体が巨大な実験室ともいえるこの地で、教科書の記述が実社会の「価値」へと昇華する瞬間を体感してください。これこそが、探究学習を真に深化させる最高の実践教材になると確信しております。

また、信濃川の悠々たる流れと越後山脈の稜線が美しい新潟の夏は、自然科学の視点からも多くの示唆を与えてくれます。本大会の記念講演では、会場校である三条市立大学のアハメド・シャハリアル学長をお迎えし、新たな視点での示唆をいただきます。3日目のコース別研修では、最先端の職人技から豊かな自然まで、新潟の地でしか得られない「本物の体験」をご用意いたしました。全国の会員の皆様とお会いし、理科教育の未来を熱く語り合えることを、新潟県運営委員会一同、心よりお待ちしております。

主 催 日本理化学協会 新潟県高等学校教育研究会理科部会（予定）  
後 援 文部科学省 全国都道府県教育委員会連合会 全国市町村教育委員会連合会  
国立研究開発法人科学技術振興機構 新潟県教育委員会 三条市  
（公社）日本理科教育振興協会 日本物理教育学会 （公社）日本化学会  
一般社団法人電子情報通信学会 日本生物教育会 日本地学教育学会  
全国小学校理科研究協議会 全国中学校理科教育研究会  
（公財）日本教育公務員弘済会新潟支部（予定を含む）

期 日 令和8年（2026年）8月4日（火）～6日（木）

会 場 三条市立大学

大会事務局 運営委員長 新潟県立新潟北高等学校・碧高等学校 校長 田邊 康彦  
副委員長 新潟県立荒川高等学校 校長 尾上 博司  
副委員長 新潟県立松代高等学校 校長 太田 修  
事務局長 新潟県立新井高等学校 教頭 中村 公紀

Web サイト <https://nirika-taikai.com/niiigata2026/>

# 新潟大会概要

## 大会主題

「探究心を育む理科教育」 — 地域産業との連携で探る，新たな価値の創造に向けて —

## 大会の趣旨

全国の高等学校等の理科教職員，理科教育関係者が一堂に会し，講演，研究協議，研究発表等を通して，主体的・対話的で深い学びを実現するための魅力ある理科教育の在り方及びよりよい指導方法を探る。

## 大会日程

第1日 8月4日(火)

	11:30	12:00	12:50	13:30	14:00	14:30	15:30	16:50
常務 理事会 【受付】	常務 理事 会	大会事前打合せ			全国 理事会	文部科学省 講 話	研究代表者会議 並びに研究協議会活 動報告	
			全国理事会 研究代表者会議 並びに研究協議会					

第2日 8月5日(水)

	8:30	9:15	10:05	11:00	12:30	13:00	13:45	14:15	16:45	17:30	19:30
受付	開会式 及び 表彰式	総 会	記念講演	写 真 撮 影	昼 食	研究協議 及び 研究発表 打合せ	研究協議	移 動	教育 懇話 会		

※科学の広場 10：00～16：45

第3日 8月6日(木)

	8:30	9:00	11:45	12:30	13:30	17:00
受付	研究発表	閉 会 式	移動 昼食	コース別研修		

※科学の広場 9：00～11：45

## 文部科学省講話

8月4日（火）14：30～15：30 4階 協和・松井ホール

演 題 未定  
講 師 未定

## 記念講演

8月5日（水）11：00～12：30 4階 協和・松井ホール

演 題 「探究心が拓く未来 — 理科教育×次世代を牽引する地域産業の融合による価値創造 —」  
講 師 三条市立大学 学長 アハメド・シャハリアル 氏



## 研究協議 8月5日(水) 14:15~16:45

テーマ「探究心を育む理科教育」

**第1分科会 個別最適な学びと協働的な学びで、探究心を育む物理教育実現のための授業づくり**  
個別最適な学びと協働的な学びで、子どもたちの探究心を育むための物理教育における授業づくりはどうかを研究協議する。

**第2分科会 探究心を育む物理教育実現のための観察・実験の工夫**  
子どもたちが思考力、判断力、表現力を育み、科学的に自然観を育成し、探究心を育むための物理教育における観察・実験はどうかを研究協議する。

**第3分科会 個別最適な学びと協働的な学びで、探究心を育む化学教育実現のための授業づくり**  
個別最適な学びと協働的な学びで、子どもたちの探究心を育むための化学教育における授業づくりはどうかを研究協議する。

**第4分科会 探究心を育む化学教育実現のための観察・実験の工夫**  
子どもたちが思考力、判断力、表現力を育み、科学的に自然観を育成し、探究心を育むための化学教育における観察・実験はどうかを研究協議する。

**第5分科会 探究心を育む生物教育実現のための授業づくりや観察・実験の工夫**  
個別最適な学びと協働的な学びで、子どもたちの探究心を育むための生物教育における授業づくりや観察・実験はどうかを研究協議する。

**第6分科会 探究心を育む地学教育実現のための授業づくりや観察・実験の工夫**  
個別最適な学びと協働的な学びで、子どもたちの探究心を育むための地学教育における授業づくりや観察・実験はどうかを研究協議する。

**第7分科会 地域産業との連携で探る、新たな価値の創造のための理科教育**  
さまざまな観点から子どもたちが考え、主体的に探究する能力を育むために、地域産業との連携をどのように理科教育に活用できるかを研究協議する。

## 研究発表 8月6日(木) 9:00~11:45

物理分野(3会場) 物理分野① 物理分野② 物理分野③  
化学分野(4~5会場) 化学分野① 化学分野② 化学分野③ 化学分野④ 化学分野⑤  
生物分野(1会場)  
地学分野(1会場)

※発表申込件数、大会参加者数に合わせて会場数を決定します。

**科学の広場** 8月5日(水) 10:00~16:45, 8月6日(木) 9:00~11:45  
会場は2階、3階の階段ホールを使い、20ブース程度を予定しています。

**教育懇話会** 8月5日(水) 17:30~19:30

会場 燕三条ワシントンホテル  
参加費 8,500円  
申込み 大会参加申込時にあわせてお申し込みください。

**コース別研修** 8月6日(木)

Aコース:「刃物と金属の聖地巡礼」~職人の技が光る、ものづくりの現在・過去・未来~  
Bコース:研ぎ澄まされた技が息づく、三条の「本物」に出会う旅  
Cコース:「新潟清酒王国の心臓部」~日本酒のふるさとで学ぶ醸造の奥義~  
Dコース:「命を守る知恵を学ぶ」~記憶から学ぶ防災学習~

Aコース 「刃物と金属の聖地巡礼」 ～職人の技が光る、ものづくりの現在・過去・未来～	定員 25名（最少催行 15名） 参加費 10,000円
--	---------------------------------

8月6日	行程 12:30 三条市立大学→12:50 藤次郎ナイフギャラリー14:00→14:20 燕市産業史料館 15:30→15:35 三条地場産業センター16:35→16:45 燕三条駅・解散
------	--

本視察は「刃物と金属の聖地」と称される燕三条地域において、伝統技術の継承と現代産業への進化、そして未来への展望を体系的に考察することを目的としています。

まず、藤次郎ナイフギャラリーの視察では、伝統的な手打ちの技法と最新の工業技術を融合させた、現代のものづくりの最前線（現在）を体感します。製造工程を可視化した「オープンファクトリー」の現場からは、職人の高度な研磨技術や徹底した品質管理、さらには世界市場を席卷するブランド戦略の要諦を学びます。

次に、燕市産業史料館において、江戸初期の和釘づくりから始まった地域産業のルーツ（過去）を辿ります。国指定伝統的工芸品「鉋起銅器」などの精緻な職人技が、いかにして近代のカトラリー産業へと結びついたのか、その歴史の変遷を膨大な実物資料を通じて体系的に理解します。

締めくくりとして、三条地場産業振興センターにて、地域全体の製品群を俯瞰します。多種多様な利器工匠具や家庭用品が一堂に会するこの拠点は、産地全体が形成する強固なサプライチェーンの象徴です。個々の技術が地域ブランドとして統合され、次世代へ繋がっていく産業の広がり（未来）を展望します。

これら三拠点を巡ることで、職人の精神性が時代に合わせて変化し続ける姿を学び、日本の基幹産業としての「ものづくり」の本質を多角的に理解する機会といたします。



藤次郎ナイフギャラリー



燕市産業史料館



三条地場産業センター

注意事項

- ・昼食は各自でご準備をお願いいたします。
- ・刃物等を扱う工場見学や移動がありますので、動きやすく、履き慣れた靴でお越しくください。
- ・道路状況や天候により、観察場所や内容を一部変更することがございます。

Bコース 研ぎ澄まされた技が息づく、三条の「本物」に出会う旅	定員 25名（最少催行 15名） 参加費 10,000円
-----------------------------------	---------------------------------

8月6日	行程 12:30 三条市立大学→12:55 マルナオ 13:30→14:00 スノーピークミュージアム 15:30→16:00 野崎製作所 17:00→17:20 燕三条駅・解散
------	---

本視察では「研ぎ澄まされた技が息づく、三条の『本物』に出会う旅」をテーマに、世界に誇る三条の卓越した職人技術と、その技術が紡ぎ出すブランドの現在・過去・未来を体系的に考察します。

まず、マルナオでは、黒檀や紫檀などの希少な硬木を用いた箸造りの最前線（現在）を体感します。0.1 ミリ単位の精度を追求する極限の削り出し技術と、手肌に馴染む機能美の融合を確認し、伝統的な木工技術を現代のライフスタイルへと昇華させたブランド戦略の要諦を学びます。

次に、スノーピークミュージアムにおいて、燕三条の地場産業と共に歩んできたアウトドアブランドの変遷（過去から未来）を辿ります。創業以来の製品アーカイブを通じ、過酷な環境に耐えうる金属加工技術の進化と、ユーザーの体験価値を創造し続ける革新的な思想、そして自然と共生する未来への展望を深く理解します。

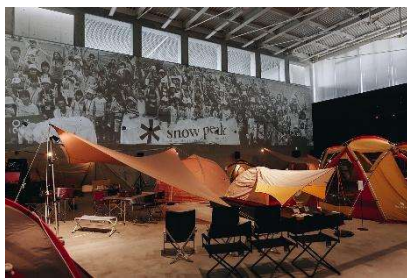
締めくくりとして、野崎製作所にて、精密な金型製作やプレス加工技術を視察します。高度な金属加工の現場からは、産地を支える基盤技術の真髓と、徹底した品質管理の重要性を学びます。

これら三拠点を巡ることで、職人の魂が込められた「本物」が生まれる背景を学び、日本のものづく

りが持つ強靱な精神性と、世界を惹きつける価値創造の本質を多角的に理解する機会といたします。



マルナオ



スノーピークミュージアム



野崎製作所

#### 注意事項

- ・昼食は各自でご準備をお願いいたします。
- ・マルナオや野崎製作所は、極めて繊細な作業や機械加工を行う真剣な現場ですので、機械や製品、展示物には決して手を触れないようお願いいたします。
- ・道路状況や天候により、観察場所や内容を一部変更することがございます。

#### Cコース

「新潟清酒王国の心臓部」  
～日本酒のふるさとで学ぶ醸造の奥義～

定員 25 名（最少催行 15 名）

参加費 10,000 円

8 月 6 日

#### 行程

12:30 三条市立大学→13:15 今代司酒造 14:30→14:40 峰村醸造 15:30  
→15:35 ピア万代 16:45→17:00 新潟駅・解散

本視察は、「新潟清酒王国の心臓部」～日本酒のふるさとで学ぶ醸造の奥義～をテーマに、発酵の町として知られる沼垂（ぬったり）から、食の集積地である万代島へと至る醸造文化の核心を体系的に考察することを目的としています。

まず、今代司酒造においては、明治中期から続く伝統的な蔵造りの風情とともに、純米大吟醸を中心としたこだわりの酒造りの最前線（現在）を体感します。一切のアルコール添加を行わない「純米造り」への徹底したこだわりや、洗練された意匠によるブランド戦略の要諦を学び、新潟清酒が世界市場でいかに価値を創出しているかを考察します。

次に、隣接する峰村醸造にて、酒造りと表裏一体の歴史を持つ味噌・醤油の醸造文化（過去から現在）を辿ります。明治時代の土蔵群が残る景観の中で、伝統的な麹菌の扱いや長期熟成技術がいかにして継承され、現代の食卓に合わせた新製品開発へと進化を遂げたのか、発酵技術の深淵と応用力を学びます。

締めくくりとして、ピア万代にて、新潟県内各地から集まる酒、米、魚介類といった豊かな食資源を俯瞰します。醸造の技が最終的にどのような食文化（未来）として結実し、地域経済を牽引しているか、その流通と発信の拠点を視察します。

これら三拠点を巡ることで、微生物の営みと職人の技が織りなす「醸造」の本質を学び、新潟が誇る発酵文化の真髄を多角的に理解する機会といたします。



今代司酒造



峰村醸造



ピア万代

注意事項

- ・昼食は各自でご準備をお願いいたします。
- ・今代司酒造の試飲体験は、ご自身の体調に合わせて無理のない範囲でお楽しみください。また酒蔵見学や味噌蔵見学では、製造機器等にはお手を触れないようお願いいたします。
- ・道路状況や天候により、観察場所や内容を一部変更することがございます。

Dコース 「命を守る知恵を学ぶ」～記憶から学ぶ防災学習～	定員 25 名（最少催行 15 名） 参加費 12,000 円
---------------------------------	------------------------------------

8 月 6 日	<p>行程</p> <p>12:10 三条市立大学→12:50 朝日酒造 14:00→14:20 妙見メモリアルパーク 14:40 →15:00※おぢや震災ミュージアムそなえ館 16:00→17:00 燕三条駅・解散</p> <p>※6/27～スポーツコミュニティプレイス「ソコラテ」（現：小千谷市防災公園）に移転予定</p>
---------	---

本視察は「命を守る知恵を学ぶ」～記憶から学ぶ防災学習～をテーマに、中越地震の教訓を語り継ぐ震災遺構や啓発施設を巡り、地域の安全を支える企業の取り組みから個人の備えに至るまで、防災の本質を体系的に考察することを目的としています。

まず、朝日酒造においては、地域と共に歩む企業としての防災・環境保全活動の最前線（現在）を体感します。酒造りの根幹である良質な水資源を守るための森林保全や、災害時における地域社会への貢献、さらには伝統産業が維持してきた持続可能な生産体制について学び、企業の社会的責任と防災の関わりを考察します。

次に、妙見メモリアルパークにて、2004 年中越地震の記憶（過去）を辿ります。震災遺構として保存された崩落現場を視察し、自然災害の脅威と、奇跡的な救出劇の背景にある人命救助の精神を深く刻みます。この地で起きた事実を直視することで、風化させてはならない教訓と、犠牲者への鎮魂の意を新たにします。

締めくくりとして、おぢや震災ミュージアムそなえ館にて、災害から生き抜くための実践的な知識（未来）を習得します。被災体験に基づく展示やシミュレーションを通じ、発災時の適切な行動や日頃の備え、さらには共助の重要性を学び、次なる災害に対して一人ひとりが「自らを守る力」を養う機会といたします。

これら三拠点を巡ることで、震災の記憶を未来の安全へと繋ぐ知恵を学び、防災文化の重要性を多角的に理解する機会といたします。



朝日酒造



妙見メモリアルパーク



おぢや震災ミュージアムそなえ館

注意事項

- ・昼食は各自でご準備をお願いいたします。
- ・屋外での視察が含まれます。段差や未舗装の場所があるため、履き慣れた歩きやすい靴でお越しください。天候に合わせた雨具や防寒着の準備も忘れずをお願いします。
- ・道路状況や天候により、観察場所や内容を一部変更することがございます。

## 大会参加申込要領

- 参加費 大会参加費 8,000 円 (学生 4,000 円)  
※上記金額には、資料代【会誌第1号・第2号・研究発表論文(資料)集実費、会誌第2号の送料】が含まれます。
- 申込締切 令和8年(2026年)6月8日(月)
- 申込方法 新潟大会のWebサイトにて大会要項等を確認し、大会参加申込フォームからお申し込みください。
- ※ 大会役員、座長、意見提示者、研究発表者の方々を含め、参加される全ての方は必ず大会参加申込を行ってください。
  - ※ 申込後の連絡は電子メールで行います。申込を行う方と直接連絡の取れるメールアドレスを参加申込時にご入力ください。
  - ※ 座長、意見提示者、研究発表者、科学の広場出展希望者は、要項後半も必ずご確認ください。
  - ※ 大会申込みは**5月18日(月)**に開始する予定です。
- 大会参加受付等取り扱い業者  
【お申込・問い合わせ先】  
株式会社 JTB 新潟支店 株式会社 JTB 新潟支店 営業課  
〒950-0082 新潟県新潟市中央区東万代町1-30 新潟第一生命ビルディング3階  
電話：025-255-5101 / FAX：025-248-7687

大会全般に関する問い合わせ先(大会事務局)  
新潟県立新井高等学校 中村 公紀(なかむら こうき)  
〒944-0031 新潟県妙高市田町1丁目10-1  
TEL：0255-72-4151 MAIL：jimu\_niigata@nirika-taikai.com

\*研究協議、研究発表、科学の広場等に関する問い合わせは各担当までご連絡ください。

### 新潟大会関係 Web サイトについて

日本理化学協会 Web サイト <http://www.nirika.jp/>

新潟大会 Web サイト <https://nirika-taikai.com/niigata2026/>

※新潟大会 Web サイトには、大会についてのお知らせや連絡が随時掲載されます。申し込み時や大会前にご覧ください。

# 大会参加にあたってのお願い

## 1 クールビズへのご協力について

8月は、例年大変な猛暑になることが予想されます。冷房温度の適正化を図るため、各自の判断で温度に適した服装での参加をお願いします。大会スタッフは、ノーネクタイで運営をさせていただきますので、ご了承ください。

## 2 「研究発表論文（資料）集」について

**本大会では「研究発表論文（資料）集」を会誌1号とともに大会当日に配付します。**研究発表論文には著作権がありますので、無断転用・転載・印刷物の無断配布等は慎むようお願いいたします。

## 3 「会誌第2号」について

大会の経過、講演、研究協議会の内容を収録するほか、日本理化学協会の活動状況、理事会・研究代表者会議の議事録をまとめ、参加者全員へ大会参加申込の際に記載頂いた送付先に後日お送りします。なお資料代・送料は大会参加費に含まれております。

## 4 研究発表を希望される方及び研究発表座長の方へ

- (1) 研究発表の内容は、理科教育現場の実践・指導などに関するものとします。学術的なものや学校の授業とかけ離れたものはご遠慮ください。
- (2) 研究発表は、より多くの方に積極的に発表していただくために、お一人で複数内容を発表される場合には調整させていただくこともあります。グループ研究での発表についてはこの限りではありません。
- (3) 研究発表の申し込みの期限は**6月8日（月）**です。新潟大会 Web サイトの申し込み専用ページから、大会参加の申し込みと合わせてお申し込みください。
- (4) 研究発表論文を作成してください。詳しい執筆要領と提出方法の詳細は本案内の後半に掲載のものをご参照ください。原稿の締め切りは**6月8日（月）**です。
- (5) 発表は研究発表論文の内容に合わせて行ってください。
- (6) 大会会場で用意する発表用パソコンは、Windows10（ESU 登録済）またはWindows11で、PowerPoint2019以降をインストールしたものを予定しております。パソコンは会場のWi-Fiをご利用いただけません。なお、各自でパソコンやインターネット環境をご準備いただくことを妨げません。プロジェクターとの接続はHDMIのみとなります。持込機器の接続確認は、8月5日（水）13:45～14:15、または6日（木）8:45～8:55に、各会場にて可能です。なお、大学構内は火気使用禁止です。
- (7) 研究発表者及び座長の打ち合わせを **8月5日（水）13:45～14:15** に研究発表各会場で行います。持ち込みのパソコンで発表される方は必ずこの時間にパソコンの接続確認をお願いします。
- (8) 記録のため、大会事務局で研究発表の様子を録画させていただきます。

研究発表に関する問い合わせ先

新潟県立新潟工業高等学校 大平 和之（おおだいら かずゆき）

TEL : 025-266-1101 MAIL : kenkyu\_niigata@nirika-taikai.com

## 5 研究協議コーディネーター、意見提示者の方へ

- (1) 研究協議コーディネーター、意見提示者（第1～第7分科会）として依頼された方は、日本理化学協会本部（企画運営部）よりメールでご連絡します。派遣依頼等につきましては、大会参加申込の際にご入力いただいたメールアドレス宛にPDFで送付します。期日までに、必ず大会参加申込をお願いします。また、各都道府県事務局にも、ご自身のメールアドレスをお知らせください。

- (2) 研究協議第1～第7分科会の意見提示者は、会誌第1号に掲載する意見提示要旨原稿を作成し、期日までに担当へ提出してください。詳しい執筆要領と提出方法は本案内の後半に掲載のものをご参照ください。原稿の締め切りは**6月8日(月)**です。
- (3) 各分科会のコーディネーターは、意見提示者とメール等で連絡を取り、当日の協議内容についての打ち合わせを事前に行ってください。各担当者のメールアドレスを共有させていただきますのでご承知おきください。なお、個人情報となりますので、メールアドレスの取り扱いにはご注意ください。
- (4) 研究協議のコーディネーター及び意見提示者の打ち合わせを、8月5日(水)13:45～14:15に各分科会会場で行います。また、同時刻、同会場にて研究協議、研究発表の持ち込み機器の接続確認を行います。意見提示用に大会事務局で用意する機器は研究発表と同様です。
- (5) 記録のため、大会事務局で意見提示の様子を録画させていただきます。
- (6) 研究協議第1～第7分科会の意見提示者は、大会終了後、当日の研究協議内容を踏まえて、意見提示要旨の内容に必要なに応じて加筆いただき、会誌第2号用原稿を期日までに担当へ提出してください。詳しい執筆要領と提出方法は本案内の後半に掲載のものをご参照ください。原稿の締め切りは**8月30日(日)**です。

研究協議に関する問い合わせ先

新潟県立五泉高等学校 桐生 翔平(きりゅう しょうへい)

TEL: 0250-43-3314 MAIL: [kyougi\\_niigata@nirika-taikai.com](mailto:kyougi_niigata@nirika-taikai.com)

## 6 科学の広場(ポスターセッション, 展示等)について

- (1) 科学の広場は、大会第2日: 8月5日(水)10:00～16:45, 大会第3日: 8月6日(木)9:00～11:45に開催します。
- (2) 会場は2階, 3階の階段ホールを使い, 20ブース程度を予定しています。
- (3) 科学の広場の参加申込締め切りは**6月8日(月)**です。ポスターセッション・展示を希望される方は、科学の広場参加申込書(エクセル形式)を新潟大会のWebサイトからダウンロードし、必要事項を入力して、[hiroba\\_niigata@nirika-taikai.com](mailto:hiroba_niigata@nirika-taikai.com)にメールにてお申し込みください。(入力後のエクセル形式ファイルを添付して送信ください。)
- (4) 科学の広場での物品の販売は非営利目的であってもできません。宣伝や紹介に止め、直接の金銭のやり取りはお控えください。
- (5) 科学の広場への出展には以下のように出展料がかかる場合があります。その場合、申込み後に振込先を記載した請求書を送付いたします。
- (a) 企業団体: 一律に出展料20,000円(協賛金をいただいている企業も別途申し受けます)
- (b) 個人・非営利グループ: 営利宣伝を行う場合のみ5,000円  
営利宣伝を行わない場合出展料はかかりません。
- ※ 上記いずれの場合も、販売はできません。
- (6) 各都道府県の研究誌や自作教材の紹介などを科学の広場にて行うことも歓迎いたします。
- (7) 科学の広場への参加申し込みは、以下の仕様や注意事項をご了解の上でお願いいたします。以下に記載のないご要望等についてはご相談ください。個別に対応を検討いたしますが、希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。
- (a) 場所:  
2階 階段ホール(8～10ブース), 3階 階段ホール(8～10ブース), 3階 アクティブラーニングスペース(8～10ブース)(いずれも隣接ブースとの仕切りはありません)
- ※ 場所の割り当ては運営側で行います。特別に希望があれば参加申込書に記載してください。割り当て場所は申し込み期間終了後にお知らせします。
- (b) 展示用パネル:  
1枚(縦153cm 横90cm, 画びょう使用可, 粘着テープ使用可)なお、ブース後方の壁や窓への掲示はできませんので、掲示物は全てパネルと長机にお願いします。
- (c) 長机:  
1台(180cm×45cm)椅子2脚が付随します。
- (d) 使用可能電力:  
60W(ノートパソコン1台程度)これ以上の電力使用を希望する場合は参加申込書に記載してください。ただし、電熱器など電力消費の多いご希望には添えませんのでご承知おきください。

- (e) 火気の使用はできません。水の使用については、設置場所が階段ホールであることを踏まえて、こぼれる可能性のある使い方や量はお控えください。
- (f) 事前に荷物を配送する場合は、日時指定で下記宛先へ送付してください。届いた荷物は1階受付脇に搬入します。

着指定日時：8月4日（火）11:30～16:30 の範囲

宛 先：〒955-0091 新潟県三条市上須頃 5002 番地 5

三条市立大学気付 日本理化学協会新潟大会事務局

※ 終了後の返送については各自で対応をお願いします。大会第3日（8月6日）の12:30までに搬出願います。

科学の広場に関する問い合わせ先

新潟県立燕中等教育学校 大野 成康（おおの なるやす）

TEL：0256-63-9301 MAIL：hiroba\_niigata@nirika-taikai.com

## 7 昼食について

三条市立大学の学食を以下の日程で、利用できます。

(1) 利用日時 8月4日（火）～6日（木） 各日11:00～13:30

(2) 利用料金 当日お支払いください。メニューや金額については、現地にてご確認ください。

※ 8月6日（木）のコース別研修に参加される方は、当日の学食は利用できません。各自でご用意ください。

※ 学食の設定準備のため、8月4日（火）～6日（木）の利用希望の調査をさせていただきます。大会参加申込と合わせて、ご回答ください。なお、あくまでも現段階での希望有無の調査です。

## 8 宿泊の予約について

株式会社 JTB 新潟支店が斡旋を行います。ご希望の方は大会参加申し込み時に JTB のホームページよりお申し込みください。

宿泊予約に関する問い合わせ先

株式会社 JTB 新潟支店 株式会社 JTB 新潟支店 営業課

〒950-0082 新潟県新潟市中央区東万代町1-30 新潟第一生命ビルディング3階

電話：025-255-5101 / FAX：025-248-7687

営業時間：9:30～17:30 / 定休日：土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始

## 9 コース別研修の参加を希望される方へ

8月6日（木）研修終了後、4つのコースを予定しています。参加を希望される方は大会参加申し込みと合わせてお申し込みください。ただし、別途参加費がかかります。各コースの詳細・注意事項をご確認頂いた上で、お申し込みください。昼食は各自ご用意して下さい。

なお、希望人数が少ない場合には中止することがあります。予めご了承ください。中止の場合の返金などの対応につきましては、後日ご連絡いたします。

コース別研修に関する問合せ先

【Aコース】「刃物と金属の聖地巡礼」～職人の技が光る、ものづくりの現在・過去・未来～  
新潟県立三条高等学校 本田 崇（ほんだ たかし）

TEL：0256-35-5500 MAIL：course\_a\_niigata@nirika-taikai.com

【Bコース】研ぎ澄まされた技が息づく、三条の「本物」に出会う旅  
新潟県立三条高等学校 相馬 泰（そうま やすし）

TEL：0256-35-5500 MAIL：course\_b\_niigata@nirika-taikai.com

【Cコース】「新潟清酒王国の心臓部」～日本酒のふるさとで学ぶ醸造の奥義～  
新潟県立新潟高等学校 川村 欣誠（かわむら よしなり）

TEL：025-266-2131 MAIL：course\_c\_niigata@nirika-taikai.com

【Dコース】「命を守る知恵を学ぶ」～記憶から学ぶ防災学習～

新潟県立長岡大手高等学校 藤井 徹也（ふじい てつや）

TEL：0258-32-0096 MAIL：course\_d\_niigata@nirika-taikai.com

# 研究発表論文（資料）集 原稿執筆要領

研究発表を希望される方は、次の要領を参考に論文の執筆をお願いします。また、大会参加申し込みと合わせて研究発表の申し込みをお願いします。なお、事務局での原稿補正はしません。**様式を厳守くださいますようお願いいたします。**

## 1 論文集原稿の執筆要領

- (1) 作成にあたって  
必ず Web サイトよりテンプレート（Word 形式）をダウンロードしてご利用ください。
- (2) 用紙サイズ・ページ数と字数・フォント  
用紙は **A4 サイズ**、余白は **上下左右 18mm** とってください。1 件の発表につき **2 ページまたは 4 ページ**のいずれかです。1 ページは **42 字×45 行**です。題目・著者名・所属名・要約文・キーワードまでは 1 段組みですが、本文からは **20 字×45 行の 2 段組**にしてください。**中央は 2 字分を空白**とします。題目・副題以外の文字サイズ・フォントは **10 ポイント・MS 明朝**とします。
- (3) 題目・副題  
題目は **12 ポイント・MS ゴシック**の文字で、1 行目の中央に置いてください。副題がない場合、2 行目を空けてください。副題がある場合、2 行目の中央に **10 ポイント・MS ゴシック**で副題を置いてください。
- (4) 所属と著者名  
4 行目に著者名、5 行目に所属を上下揃えて書き、いずれも左右中央に置いてください。所属は〇〇県立〇〇高等学校のように、正式名を記してください。なお、**所属と著者名については Web サイトに掲載させていただきますので、ご了承ください。**
- (5) 要約文  
発表の要旨を **5 行**の要約文として書いてください。7 行目に【要約】と書いた後に続けて 11 行目までを使って要約文を書いてください。
- (6) キーワード  
発表論文の内容を最もよく表すキーワードを、12 行目に【キーワード】と書いた後に続けて **10 ワード以内**で書いてください。
- (7) 本文  
14 行目から **20 字×45 行の 2 段組 10 ポイント**で、各ページ左段の次に右段の順序で書いてください。ページ番号はつけないでください。内容構成は基本的には、**〔1 はじめに、2 調査方法、3 結果、4 今後の課題、5 文献〕**の形にし、**項目題は MS ゴシック**で入れてください。
- (8) 画像・図・表・写真  
必ずレイアウト上に挿入してください。2 段組の中央 2 文字分の空白部分にかかってもかまいません。写真は白黒で濃淡の鮮明なものを使用してください。研究発表論文は白黒印刷のため、カラー写真は期待どおりの色彩にならない場合があります。なお、写真や図については適切なサイズに縮小してから貼り付け、**ファイル全体のサイズが 2 MB を超えないよう**にしてください。2 MB を超える場合は事前に下記連絡先までご相談ください。

## 2 提出方法および締切・提出先

- (1) **Word 形式ファイル**および、印刷した原稿と同じ体裁になることを確認した **PDF 形式ファイル**を添付してメールにて提出してください。
- (2) メールを送付の際、件名は「研究発表論文原稿」とし、本文に「分野名」「所属」「氏名」を記載してください。原稿を受理しましたら、メールにてその旨を返信しますので、返信がない場合は下記の連絡先までお問い合わせください。
- (3) 研究発表の申し込み締切は **6月8日（月）**、論文原稿の提出締切は **6月8日（月）**です。

研究発表論文の原稿送付先および原稿に関する問い合わせ先 新潟県立松代高等学校 朝井 祐子（あさい ゆうこ） TEL：025-597-2064 MAIL：kenkyu_genko_niigata@nirika-taikai.com
--

# 研究協議 原稿執筆要領

研究協議において意見提示をされる方は、次の執筆要領を参考にして執筆をお願いします。また、大会参加申込みを忘れずをお願いします。

## 1 意見提示要旨原稿の執筆要領（第1～第7分科会の意見提示者）

- (1) 作成にあたって  
必ず新潟大会 HP よりテンプレート（Word 形式）をダウンロードしてご利用ください。
- (2) 用紙サイズ・ページ数および字数  
用紙サイズは A4 サイズ、余白は 上 20mm・下 27mm・左右 19mm とってください。1 ページは 48 字×49 行 です。下半分のスペースのみ記載してください。題目・所属・著者名までは 1 段組ですが、本文からは 23 字×20 行の 2 段組にしてください。中央は 2 字分を空白とします。
- (3) 題目  
11 ポイント・MS ゴシックの文字で 1 行目に「意見提示要旨」と左詰めで記載後、文字を網かけし、題目は中央に書きます。
- (4) 所属と著者名  
1 行空けた後、所属・著者名を 1 行使って右に置きます。所属は 10 ポイント・MS 明朝で、「〇〇県立〇〇高等学校」のように正式名を、著者名は 10 ポイント・MS ゴシックで書いてください。なお、所属と著者名については、新潟大会 Web サイトに掲載させていただきますので、ご了承ください。
- (5) キーワード  
所属・著者名の次の行に左寄せでキーワードを書きます。  
優先順位が高い順に左から 8 ポイント・MS 明朝で 3 つ書いてください。  
例えば、「ICT 活用 1 人 1 台端末 グループ連携」などとしてください。
- (6) 本文  
次の行から 23 字×20 行の 2 段組 10 ポイントで、各ページ左段の次に右段の順序で書いてください。「1 はじめに」等の項目題は MS ゴシックで、本文は MS 明朝です。

## 2 会誌 2 号用原稿の執筆要領（第1～第7分科会の意見提示者）

- (1) 作成にあたって  
必ず新潟大会 HP よりテンプレート（Word 形式）をダウンロードしてご利用ください。
- (2) 用紙サイズ・ページ数および字数  
用紙サイズは A4 サイズ、余白は 上 20mm・下 27mm・左右 17mm とってください。意見提示者の記入箇所はすべて二段組みとし、23 字×43 行とってください。中央は 3.5 字分を空白とします。
- (3) 題目  
11 ポイント・MS ゴシックで 1 行目に“第”に続いて分科会番号と意見提示の順番をそれぞれ全角で記載し、1 字空けて題目を書いてください（例：第 2 分科会で 3 番目に意見提示→「第 2—3」）。題目が複数行に渡る場合、2 行目の 1 文字目と題目の 1 文字目の左右の位置を一致させてください。
- (4) 所属と著者名  
題目の次の行に所属の正式名を、所属の次の行に氏名をそれぞれ 11 ポイント・MS ゴシックで記載してください。
- (5) キーワード  
著者名の次の行に左寄せでキーワードを書きます。意見提示要旨と同様にして、優先順位が高い順に左から 10.5 ポイント・MS ゴシックで 3 つ書いてください。
- (6) 項目題と本文  
次の行を 1 行空けて、キーワードの 2 行下から書き始めます。「1 はじめに」等の項目題は 11 ポイント・MS ゴシック、本文は 10 ポイント・MS 明朝で、各ページ左段の次に右段の順序で書いてください。
- (7) 原稿の内容について  
文字数等の規定はありませんが、1 ページ～1 ページ半程度で作成をお願いします。

意見提示要旨をもとに、発表内容の詳細についてまとめてください。例年、意見提示要旨と同じ内容でまとめる方と、意見提示では話しきれなかったことを付け加えて原稿を作成する方がいらっしゃいますが、どちらでもかまいません。

### 3 原稿の提出方法および締切・提出先

- (1) 意見提示要旨、会誌2号用原稿のいずれも、Word形式ファイルおよび、印刷した原稿と同じ体裁になることを確認したPDF形式ファイルを添付してメールで提出してください。PDF形式ファイルへの変換はご自身でお願いします。
- (2) メール送付の際、件名と本文を以下のようにしてください。  
【件名】 意見提示要旨の送付の場合 → 「研究協議要旨原稿」  
会誌2号用原稿の送付の場合 → 「研究協議会誌2号原稿」  
【本文】 「分科会番号」「所属（正式名）」「氏名」「キーワード（優先順位順）」を記載  
なお、原稿を受理しましたら、メールにてその旨を返信しますので、返信がない場合は、お手数ですが以下の担当連絡先までお問い合わせください。
- (3) 各原稿の提出締切は以下のとおりです。  
意見提示要旨 → 6月8日（月）  
会誌2号用原稿 → 8月30日（日）

研究協議の原稿送付先および原稿に関する問い合わせ先  
新潟県立国際情報高等学校 小林 力（こばやし りき）  
TEL：025-777-5355 MAIL：kyougi\_genko\_niigata@nirika-taikai.com

# 会場へのアクセス

三條市立大学 〒955-0091 新潟県三條市上須頃 5002 番地 5  
 <アクセスマップ：三條市立大学 HP より>

